

Slack で広がる 業務コミュニケーションの新しい形

2025年10月 Ver1.0
株式会社ケイズコーポレーション



こんなお悩みありませんか？



情報が分散・混在している

- ・利用ツールが多すぎて、必要な情報がどこにあるか分からぬ
- ・部署や拠点ごとにやり方が違い、情報が分断されている



コミュニケーションが滞りがちである

- ・会議・報告用に同じ情報を何度もまとめ直している
- ・せっかくのナレッジが社内で共有・活用されにくい



繰り返し作業が多く、属人化している

- ・気軽に相談できる場がなく、簡単な確認にも時間がかかる
- ・誰が対応しているか、進捗が見えづらい



チャットツールを超えた Work OS

[Slack](#)で解決しましょう！



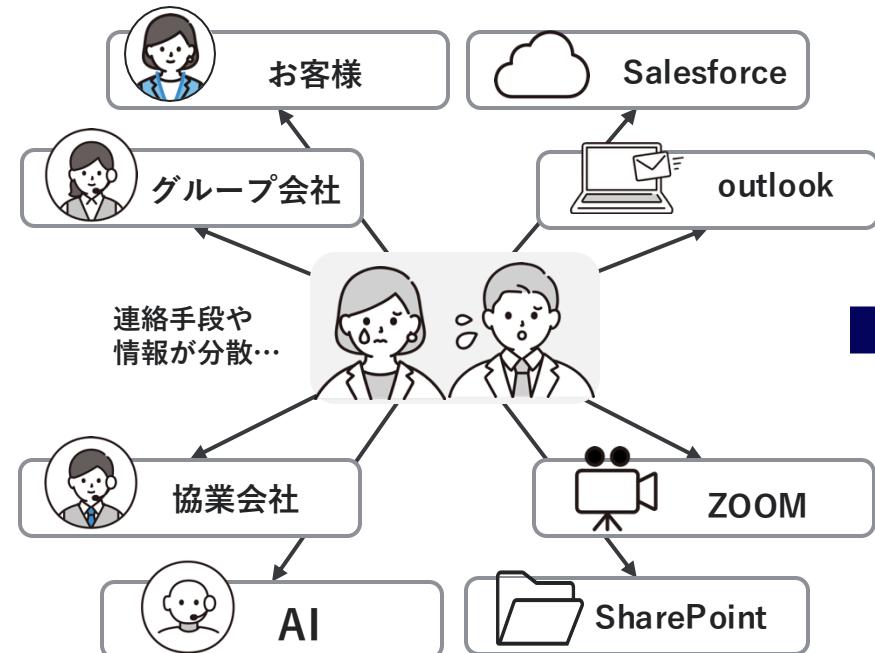
Slackとは

Slackとは

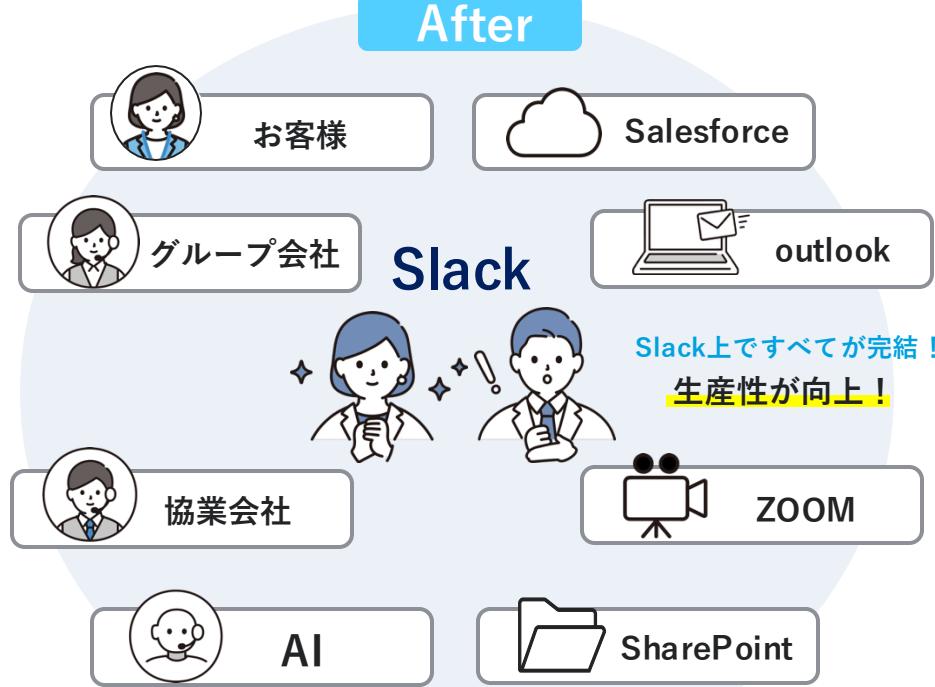


会話の形で情報・人・ツールをつなぐ“業務のハブ”

Before



After



2,600を超えるアプリケーションとの連携が可能

一般的なコミュニケーションツールとの違い

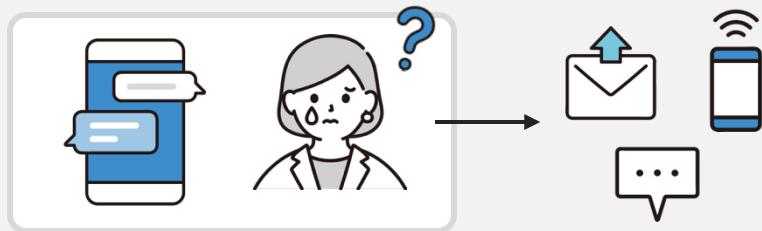


オープンな会話で情報を見る化することで、社員の参加意識・主体性を高める

一般的なチャット

参照可能な情報は自分が参加しているチャットのみ。

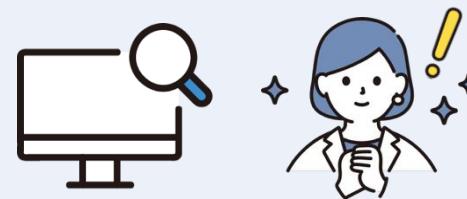
- ・社内情報を個人で保存
- ・必要な情報は、個別で確認



Slack

参加していないチャットの情報が参照可能。

- ・検索によって必要な情報を取得
- ・構造的なコミュニケーションへ
- ・AI検索機能でサマリの確認



✓ 社内情報が透明化されることで、適切な情報管理が必要



Slackの機能

Slackの基本機能で情報を整理・活用

Slackチャットの機能（一例）

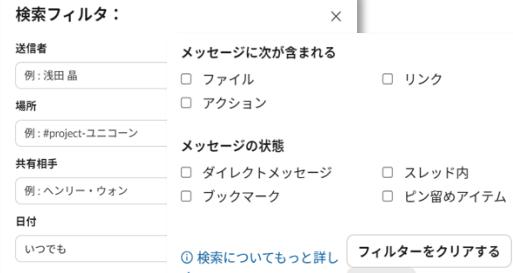
スレッドで返信

- 会話をトピック単位でまとめることで
✓ 重要なメッセージが流れず埋もれない
✓ トピックごとに整理されて見やすく！



情報の検索

豊富な検索フィルタで検索が簡単！



メッセージのブックマーク

メッセージをブックマークし、1か所に集約！



「業務のハブ」として多くの情報を集約できるため
必要なメッセージ・情報をすぐに見つけることができ、活用しやすい仕組みになっています。

Slackの便利機能【ワークフロー】



Slackの便利機能で業務をもっとスマートに

ワークフロー

頻度の高い定型的な手続きや業務プロセス（ルーティンワーク）を自動化。

トリガーとステップを選択し構築、自動化で業務を効率化！

- 🔗 Slack 内のリンクから
クリックで開始します
- 🔗 Webhook から
サードパーティイベントから開始します
- 🕒 スケジュールに基づく
- 🕒 メッセージが投稿された時
特定の条件に一致するメッセージが投稿された時に開始する
- 🕒 リスト項目が更新された時
- 😊 絵文字リアクションが使用された時
メッセージへのリアクション後に開始します
- 👤 誰かがチャンネルに参加した時

- 👤 チャンネルへメッセージを送信する
- 📝 情報をフォームで収集する
フォームを使用して情報を収集します
- ➕ ブランチを追加する
ブランチのタイプを選択し、ルールを定義する
- 👤 誰かにメッセージを送信する

事務依頼

依頼先

Keizu 村松 優 (自分) ● 村松 優

カテゴリー

オプションを選択する

期日 (任意)

日付を選択

ファイル (任意)

ファイルをアップロードする

Slackの便利機能【canvas・リスト】



Slackの便利機能で業務をもっとスマートに

canvas

オンラインの共同作業スペース（≒Quip）

- ✓ Slack内で情報を作成、整理、共有が可能に

XXX株式会社 ○○案件

顧客情報

- ・リンク：
- ・事業内容：建築業
- ・本社：東京都新宿区
- ・従業員：1,000名
- ・資本金：100,000,000円
- ・設立：1970年

2025/0X/X(X) XX:00～XX:00

参加者

- ・お客様名：A様、B様
- ・ケイズ：XXさん、YY

議事録：YY

リスト

表形式でタスクやプロジェクトを管理

- ✓ Slack内で、進捗管理が可能に
- ✓ ワークフローとの組み合わせで、プロセスをさらに効率化！

[○○さん] オンボーディング

名前	形式	担当課	ステータス	終了	説明
#welcome で自己紹介	セルフタスク		完了	08/05/2024	
アナウンスチャンネル#announcementsに参加	セルフタスク		完了	08/05/2024	
誰かの投稿に絶文字アクションしてみましょう	セルフタスク		未着手	08/09/2024	
Slack プラットフォームの理解	資料	Mei	未着手	08/09/2024	
お客様向け支援プランの作成	資料	ryofujii(Slack)	未着手	08/09/2024	
データ分析方法について	レクチャー (Zoom)	Junichi Honda	完了	08/13/2024	
営業部の仕事内容について	レクチャー (Zoom)	Yasuhiro Maruta	未着手	08/13/2024	
マーケティング部の活動について	レクチャー (Zoom)	Hitomi Seya	完了	08/13/2024	
Webinar 開催のオペレーションを理解	シャドーイング	Mako (Slack team) (S)	スケジュール	10/01/2024	9月に予定されて
他チームとの連携方法	レクチャー (Zoom)	Asuka Akuura	スケジュール		
コミュニティー (JCN) の理解	レクチャー (Zoom)	Sayo (Slack)	スケジュール	08/27/2024	

+ アイテムを追加する

Slack AI は、社内の会話データを活用して情報を要約し、探している内容の場所を教えてくれます。必要な情報を素早く把握でき、業務のスピードが向上します。

まとめ・要約

チャンネルでの会話や
スレッドの内容を自動で整理。

- ✓ ポイントをダイジェストとして表示

sc-定例業務 9月5日-18 70

9月5日の朝会
@ [REDACTED] が出欠確認し、@ [REDACTED] の欠席を共有しました。

9月8日の朝会
@ [REDACTED] が司会を務め、@ [REDACTED] のスピーチ、バックオフィスWorld 2025夏の開催、課題管理や障害管理の遅延状況などを共有しました。

9月9日の朝会
@ [REDACTED] が司会を務め、@ [REDACTED] のスピーチ、Playstoreの許諾契約やスマホソフトウェア競争進法の実行など業界全体の大きな変化について共有しました。

MTGの議事録

ハドルミーティングの
(Slackのビデオ会話ツール)
文字起こし・議事録生成

ハドルミーティングの議事録: 2025/09/18、場所: # [REDACTED] 同好会

Slack AI がこのハドルミーティング (14:55:47 - 15:37:04 JST) の議事録を作成しました。本会議では、リリースの準備状況、リーガルチェックの進捗、追加の依頼対応などについて議論されました。全体的な流れが整理され、ワークフローの改善に向けた提案がなされました。ハドルミーティングをチャンネルで表示する

参加者

@ [REDACTED], @ [REDACTED], @ [REDACTED], @ [REDACTED]

要約

- リリースの準備状況
 - @ [REDACTED]: リリースの準備は進んでいるが、[REDACTED]さんのスケジュールの都合で、リリースが来週にずれ込む可能性がある。 [5:28]
 - リーガルチェックの進捗

AI翻訳

ワンクリックでメッセージ翻訳

- ✓ 異なる言語を使うメンバーとも
スムーズにやり取り！

12:32 Could you please share this report by this afternoon?

翻訳済み | 翻訳を表示する



12:32 このレポートを今日の午後に共有していただけませんか？

翻訳済み | オリジナルを見る

Slack × Salesforce連携 ユースケース



SalesforceとSlackを組み合わせることで、商談管理や情報共有の幅が広がり、日常の業務がよりスムーズになります。両製品の知見を持つ弊社の支援を通じて、Salesforceの価値をSlackがさらに引き出します。

Slack上でレコードの表示・編集

TOKYOパラダイス 商談

メッセージ 商談の詳細 要約 canvas を追加する +

商談
商談 オン TOKYOパラダイス株式会社
KEIZU

クリックアクション
SC接続作成 事例登録 活動の記録

4件のアクションをすべて見る

レコードの詳細

Stage: E

商談コードタイプ
普通

取引先名
TOKYOパラダイス株式会社

商談名
TOKYOパラダイス

固有名
テキストを追加する

商談所有者
Keizu松井

セールスコンサル
担当者
レコードを追加する

クラウド担当者
レコードを追加する

提案支援区分
オプションを選択する

Slackワークフローを使った自動化

ワークフローを開始して...

Salesforce のイベントで開始

その後これらを実行

1. # demo-テストチャンネル にメッセージを送信する

テスト) 受注報告 ワークロー
商談 > 商談名 のフェーズがAに変更されました!

情報共有と業務効率化を同時に実現

Slack上でSalesforceレコードの詳細を表示し、そのまま編集することができます。

※編集権限はSalesforce上で権限と連動

自動化でスピードと効率を両立

Salesforceレコードの変更をトリガーに、Slackワークフローが自動的に開始し、Slack上に即座共有されます。

ex) Salesforce上で商談が受注した際、自動でSlackチャンネルにも受注した旨を通知し、メンバーに周知する。

支援事例



既に社内チャットツールとして利用していたSlackをハブとして活用し、部門間の情報共有がスムーズに
SlackとSalesforceの連携により、商談情報を全社へ共有できるようになり、新たなビジネスアイデアの創出にもつながりました

顧客課題

組織の縦割り化による情報の横展開不足、リモートワークによるコミュニケーションの減少により、部門間の情報連携が十分に図れていない。

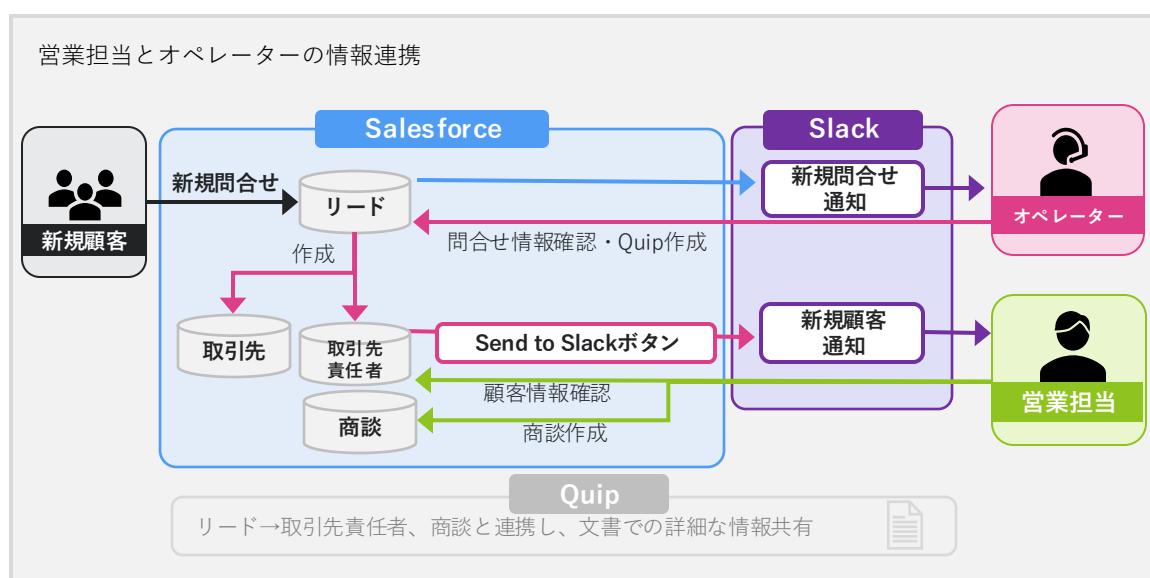
解決策

Slackをフロントにし、社内コミュニケーションの活性化を目指しました。営業担当が使用しているSalesforceと、営業担当含め全社員が使用しているSlackを組み合わせる、**営業動向の全社展開や、拠点・部門を超えた情報共有の場**ができました。
営業担当とオペレーターの情報共有においては、新規問合せのSlackへの自動通知を実装し、対応の抜け漏れ防止や初動の迅速化につながりました。

導入後の効果

メールでは形式ばった印象になりがちだった社内の情報共有ややり取りも、**Slackを活用することで気軽に見える**ようになり、コミュニケーションの頻度が増加しました。

また、**組織を横断した情報共有が社内で定着し**、新たなコラボレーションやビジネスの創出にもつながっています。



Slack で広がる業務コミュニケーションの新しい形

- ✓ Slackは、会話の形で情報・人・ツールをつなぐ“業務のハブ”
- ✓ Salesforceとの連携で、情報活用の幅が拡大
- ✓ 小規模導入向けのお手ごろプランから、大規模組織向けまで、ニーズに応じたプランをご用意

Salesforce社からライセンスやその他詳細な説明を受けられます。
ご興味がございましたら、ぜひお気軽に下記、または貴社担当営業までご連絡ください。

株式会社ケイズコーポレーション セールスコンサル事業部 【Slack専属営業】
村松 優 (むらまつ ゆう)
ymuramatsu@keizu.co.jp
070-3409-9604



ケイズコーポレーション Slack導入支援メニュー

Slack導入オンボーディング支援



Slackを初めて導入されるお客様に対し、基本機能やユースケースの紹介、運用方法のご提案を行います。

自走に向けた伴走支援を通じて、スムーズな立ち上げと定着を実現します。

初期費用

30
万円

※ご支援期間：1か月

対象プラン

- ・フリー
- ・プロ
- ・ビジネスプラス

※Enterprise+ はお問合せください

ご支援概要

- ・Slack機能説明
- ・Slackユースケース説明
- ・運用方法のご提案/運用ルール策定支援
- ・管理者向けイネーブルメントセッション
- ・ユーザー向けイネーブルメントセッション
- ・初期設定
- ・QA支援



Slack導入支援 オプションメニュー



Slack導入支援のオプションメニューです。

お客様のご要望に応じて「**Slack導入オンボーディング支援**」に追加してご提案いたします。

オプションメニュー	ご支援概要	追加金額
マニュアル作成支援	策定した運用ルールのマニュアル作成	20万円
Slackワークフロー設定支援	Slackのワークフローの設定支援 ※自動化運用ルール1セットを設定	16万円
Salesforce接続設定支援	SlackからSalesforceデータの確認、更新のための初期設定	16万円
Salesforce連携ワークフロー設定支援	SlackとSalesforce間の連携ワークフロー設定支援 ※自動化運用ルール1セットを設定	45万円
外部システム連携支援	他システムとの連携設定	別途お見積り

Slack × Salesforce連携 ユースケース



Slack上でレコードの表示・編集



情報共有と業務効率化を同時に実現

Slack上でSalesforceレコードの詳細を表示し、そのまま編集することができます。

※編集権限はSalesforce上の権限と連動

ご利用メニュー

Slack導入オンボーディング支援



Salesforce接続設定支援

46
万円～

Slackワークフローを使った自動化

ワークフローを開始して...



Salesforce のイベントで開始

その後これらを実行

1. # demo-テストチャンネル にメッセージを送信する



テスト) 受注報告 ワークフロー

商談 > 商談名 のフェーズがAに変更されました

自動化でスピードと効率を両立

Salesforceレコードの変更をトリガーに、Slackワークフローが自動的に開始し、Slack上に即座共有されます。

ご利用メニュー

Slack導入オンボーディング支援



Salesforce接続設定支援

Slackワークフロー設定支援

62
万円～



会社紹介

いつでもそばに



KEIZU は、Salesforce の導入実績、顧客満足度の高さから、
株式会社セールスフォース・ジャパンが最も信頼するコアパートナーに選ばれています。

Salesforce パートナー 500社の中で、トップベンダーの評価を得ています。



5年連続受賞!!

Salesforce Partner Award 2017 Agile Integration of the Year

Salesforce Partner Award 2018 Kansai Innovation Partner of the year

Salesforce Partner Award 2019 Best Partner of the year

Salesforce Partner Award 2020 Agile Integration Partner of the Year

Salesforce Partner Award 2021 Agile Integration Partner of the Year

貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社はSalesforce.com様の日本法人が設立された

2000年からの開発パートナとして、業種、業務を問わず
多種多様な企業様のシステム構築のお手伝いを行って参りました。

当社のセールスフォース製品に対する豊富な実績とノウハウにて、
貴社課題の解決に向け全力で取り組む所存でございます。

会社概要



会社名	株式会社 ケイズコーポレーション
所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-14 京阪神虎ノ門ビル11F (本社) 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル20F (大阪オフィス) 〒451-6040 愛知県名古屋市西区牛島町 6-1 名古屋ルーセントタワー40F (名古屋オフィス) 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-9-17 福岡天神フコク生命ビル15F (福岡オフィス) 〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ17F (札幌オフィス) 2025年7月 開設
電話番号	03-5510-3451 (代表)
設立	平成3年3月22日
資本金	7,000万円
社員数	225名 (ケイズコーポレーション: 149名 ケイズベトナム: 76名)
役員	代表取締役: 神林 幸一 取締役 副社長執行役員: 山本 十五 取締役 専務執行役員: 森田 一郎 常務執行役員: 神林 幸康 常務執行役員: 小林 伸子 常務執行役員: 山中 康士郎 監査役: 武藤 泰豊 (辻・本郷税理士法人)
グループ会社	KEIZU VIETNAM CO., LTD. (1st Floor, Saigon Mansion building, No 3 Vo Van Tan Street, Vo Thi Sau ward, District 3, HCMC, VIETNAM)

事業概要（サービス・ソリューション）



KEIZU は、Salesforce の導入実績、顧客満足度の高さから、
株式会社セールスフォース・ジャパンが最も信頼するコアパートナーに選ばれています

事業内容



コンサルティング

さまざまなお客様にソリューションを提供してきた経験を活かし、
システムからトレーニング、保守運用に至るサービス全体をご提案



開発

Salesforce® のカスタマイズ、既成アプリケーションの実装、
新規プログラム開発、テスト、データ移行の実施



運用準備

ご要望に応じて新システムの操作・運用マニュアルを作成
新システムへの移行/活用促進のための管理者・従業員向けトレーニングも実施



運用保守

導入したシステム／アプリケーションを保全し、
安定稼働を実現する豊富なサービスメニューをご用意



改善提案

経験とノウハウ、実際の運用データをもとに、
"今"のお客様が必要な改善点や追加機能をご提案

プロジェクト実績

※2025年1月時点

企業数 : **1,280**社以上

プロジェクト件数 : **5,200**件以上

Salesforce国内開発実績数 **トップ
クラス**

Salesforce資格

※2025年1月時点

合計（延べ人数） : **913**名

資格取得者数 : **300**名

表彰実績

Salesforce Partner Award 2017 Agile Integration of the Year

Salesforce Partner Award 2018 Kansai Innovation Partner of the Year

Salesforce Partner Award 2019 Best Partner of the Year

Salesforce Partner Award 2020 Agile Integration Partner of the Year

Salesforce Partner Award 2021 Agile Integration Partner of the Year



Salesforce パートナー 500社の中で、トップベンダーの評価を得ています

Thanks